

R5.8.28(月) 開催

飯塚市認知症ケア会議での話題提供を実施。

令和5年8月28日(月)曜日、飯塚市認知症ケア会議に、当院

認知症医療センター室長の江頭が参加させて頂き、江頭は

今年度、本会議の副座長に指名して頂きました。



飯塚市認知症ケア会議では、江頭の他に、飯塚医師会、飯塚歯科医師会、飯塚医師会（認知症サポート医、認知症初期集中支援チーム）、福岡県社会福祉士会、飯塚地区消防本部などの団体からの推薦を受けて、15名の委員で構成、当日は12名の参加者であった。

今年度第1回目の会議において、「福岡県認知症医療センターからみた、飯塚市認知症施策の現状と課題」という演題にて、30枚のスライドをわずか10分弱の時間で報告するという中で、【現状】として、かかりつけ医と認知症専門医療機関との連携が課題、家族が「認知症」に対する理解がない、乏しい、認知症サポーター養成講座修了者、受講者が少ない、本人が受診をしない、サービスを拒否、運転免許の問題があることを報告。【課題】として、①かかりつけ医と認知症専門医療機関との連携、②本人、家族が認知症の理解が乏しい。その解消として、認知症初期集中支援チームの活用認知症サポーター養成講座、チームオレンジの創設を提言させて頂いた。又、まとめとして、行政を核として、認知症の人と家族、支援者、飯塚市民全員が、その人らしく、住みなれた地域に向けて、地域づくり、施策を実行していくことが今後必要になっていくと思われる。認知症ご本人、認知症の方を支えるご家族に耳を傾け、いかにしていくかを問いかける時代であると考えことを伝えさせて頂いた。

最後になりますが、参加者の皆様を始め、このような機会を頂きました。

飯塚市様、飯塚市認知症ケア会議参加者の皆様方に大変感謝いたします。

